

日本語教育センターからのメッセージ

日本語教育センター長
浮田 潤先生



4月から、日本語教育センター長に就任した浮田 潤(うきたしゆん)です。文学部総合心理科学科の教員で、専門は認知心理学です。このセンターでの仕事は初めてですし、日本語教育についても、まだわからないことだらけですが、他の先生方やスタッフのみなさんに助けてもらいながら、精一杯務める覚悟です。認知心理学では「言語は主要な研究領域の一つですし、また、かつて「日本語教師」を将来の仕事として考えたこともありませんでしたので、これも何かのご縁だろうと思っています。日本語教育センターの役割は、これから益々重要になり、また忙しくもなってくると思いますが、その中で少しでも力を発揮できればと考えています。

でも本当は、山の中でキャンプをして、のんびりとビールを飲みながら野鳥を眺めている時間が一番好きです。キャンプで、じつと立ち止まって木の上の鳥を見上げている怪しい人を見かけたら、たぶんそれが私です。

新任教員紹介



高村 めぐみ先生



4月に着任しました高村めぐみです。出身は横浜で、ずっと東京の大学で教えていました。人生初めての関西暮らしです。音声学が専門で、人が話すことばに興味があります。日本語は、話すことばと書くことばが全く違って、本当におもしろいと思います。関東のことばと関西のことばが違うのは言うまでもありませんが、そのことばの違いが文化の違いにも影響していると日々感じています。これからは新しい発見があることを期待してわくわくしています。みなさま、どうぞよろしくお願いたします。



西村 由美先生

関学の文学部出身なのですが、会社員生活を経て、今年度から教員として「ここ」に戻ってこれたことに感謝しつつ毎日過ごしています。これまでは日本語学習者にとって習得が難しいとされるオノマトペを中心に談話分析を行ってきました。日常の雑談、講義、ディスカッションなど様々な談話を眺めていると、その繊細かつダイナミックな流れに目を奪われます。今後は日々の授業の中から生じた課題を出発点にした実践研究も積極的に進めていきたいと考えています。今していることは、数年後、数十年後に見るとおかしなことなのかもしれないという自分への疑問を常に抱き、教育と研究に関わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

新入職員紹介



日本語教育センター職員 川崎 雅史



趣味は、国内・海外を問わず、旅行に行くことです。どこかおすすめのスポットがあれば、是非教えてください。これからは、留学生、日本人学生の皆さんが関西学院大学で充実した学生生活を送れるように、サポートできればと思っています。よろしくお願いたします。

日本語教育センター職員 大西 えみ



4月から異動になりました大西です。学部の事務室で5年間、教務関係の仕事をしてきました。皆さんが快適に学べるようお手伝いできれば嬉しいです。慣れない生活でストレスがたまっていますか？西宮や神戸には、銭湯がたくさんあります。温泉をひいている銭湯もあり、手軽にリフレッシュできますよ。是非行ってみてください！

日本語教育センター職員 葉佐 賢太郎

昨年の11月から日本語教育センターで働くことになりました葉佐賢太郎です。11月までは国際教育・協力センターで留学生の奨学金手続き業務や在留管理等の仕事をしていました。これからは留学生・日本人学生のみならず、日本のアニメと陸上競技(短距離走)が大好きです！多くの留学生、日本人学生のみならずとの交流を楽しみにしていますので、事務室に来た際は気軽に声をかけてください！



よく
お願
います



日本語学習コース(レベル6A)

ラーニング・アシスタント(LA)
橋本 沙紀さん(法学部)

授業では、日本の社会問題に関するテーマについてインタビュー形式で問答を行い、それに対するフィードバックを行いました。日本の社会問題がテーマであると聞いていたので、新聞にも掲載されるような外交のことなどを想像していましたが、実際にはとても身近な問題で社会問題とも認識していないテーマもあったりして、異なった視点からの日本に対する考えを学ぶ経験が得られました。また、留学生たちの調査への熱意は、素晴らしいものでした。短い1時間という時間でしたが、留学生とLA両方が、外国の社会問題あるいは国内の社会問題を再学習するとても有意義な時間であったと思います。

受講者の声: パシフィック大学
ガルシア シュニア
(アメリカ)

日本語の作文クラスで、日本人学生にインタビューして、その結果を要約してレポートを書く勉強をしています。僕のテーマは、偽物と海賊版の利用についてです。実際にインタビューをする前に、授業の中でLAの学生に来てもらって練習しました。



＜インタビューの練習をする橋本さん(左)とウィルさん(右)＞

練習の前に質問を考えていましたが、相手の答えによって次の質問を変えたりすることまで考えていませんでした。LAの学生から色々なアドバイスをもらって、インタビューを考え直しました。練習の前に考えていたインタビューは、内容や流れが全然違うものになりました。もしこの練習がなかったら、インタビューがうまくいかなくて、いいレポートが書けなかったと思います。授業のあとで、実際にレポートで使うインタビューを1人にしていただきました。練習のおかげで聞きたいことをうまく聞くことができたので、すごく役に立ったと思います。

交換学生紹介!



受講者の声: 韓南大学(韓国)
ファン インジョンさん

2013年2月に短期プログラム(3週間)に参加してすごく良かったので、交換留学でまた関学を選びました。関学は色々なルールが厳しいところもありますが、その分、留学生のことをよく考えてくれていて、サポートもしっかりしています。留学の初めの頃に、様々な分野についてオリエンテーションをしてもらって、楽に留学生活を始められました。

今、関学の寮で日本人学生3人と一緒に住んでいます。彼女たちと一緒に過ごしながら、日常の中で話を交わして、お風呂文化など家の中でも日本の文化を自然に感じる事ができるので、寮生活はとってもいいです。

実は単位互換がうまくいかなかった、韓国に戻ってから卒業を半年延ばさなければならなくなりました。でも、留学先を選ぶ前に戻れたとしても、絶対にまた関学を選びます。それほど私は関学での留学生生活を気に入っています。

受講者の声: サイモン・フレージャー大学(カナダ)
駒場 友さん

日本国籍で小4まで日本にいましたが、交換留学で関学に来ました。東日本大震災のときに、日本のことをよく知らないうという事に気づき、もっと日本のことを学びたいと思ったのがきっかけです。留学先を決める際に、知っている人が全くいない環境で頑張りたいと思い、関学への留学を決めました。

関学ではアカデミック日本語、英語で開講されている日本政治、日本語で開講されている日本書誌学など、7つの授業を履修しています。色々な国から来ている交換学生とも、関学生とも交流できるので、楽しいです。

寮では日本人学生と一緒に住んでいますし、手芸部にも入ったので、多くの友達ができました。日本語パートナーとも一緒にご飯を食べたり、遊びに行ったりもしています。学校生活も学校外の生活もとても充実していて、大満足の毎日です。



日本語パートナーとUSJで
＜一番左が駒場さん＞



＜一緒に住んでいる寮の友達と 前右がインジョンさん＞

留学生WEEK開催!
2015年6月8日~12日 [NUC]



留学生と一般学生の交流を深める1週間。
期間中は様々なイベントを企画しています!

- ★Cool Japanトークショー in English :
交換学生が日本で見つけたCoolなものを英語で紹介します!
- ★スピーチ発表: 日本に関連したテーマで留学生がスピーチを発表!
- ★日本文化体験: 留学生と共に体験しよう!
映画上映会、書道、折り紙体験、茶道、日本の昔遊び体験
- ★各国ランチフェア: 留学生の母国の食文化を体験してみよう!
BIG PAPA(生協後援)